

平成 27 年度 指定管理者年度総合評価表

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月実施分)

作成日	平成 28 年 6 月 8 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市水産会館	
所在地	八戸市大字白銀町字三島下 95	
施設概要	<p>《設置目的》 宿泊、研修等で利用できる施設を提供することにより、水産業従事者の資質の向上及び福祉の推進を図り、水産業の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>《構造》 鉄筋コンクリート造、地上 7 階建 指定管理部分は 1 階、2 階、6 階及び 7 階</p>	
指定管理者	名称	一般社団法人八戸市アールアール厚生会
	代表者	会長 林 良彦
	所在地	八戸市類家四丁目 3 番 1 号
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	<p>(1) 設置条例第 3 条に規定する事業の企画及び実施に関する業務</p> <p>(2) 本施設の使用の許可に関する業務</p> <p>(3) 本施設の設備等の維持管理に関する業務</p> <p>(4) 本施設の管理業務に付随して必要となる附帯業務</p> <p>(5) その他</p>	
市所管課 (問合せ先)	農林水産部水産事務所 流通加工振興グループ	
	電話	0178-33-2115 (直通)
	E-mail	suisan@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<p>管理・運営に当たっては、会館の設立目的を尊重し公共施設としての役割を担いつつ、公平、公正なサービス提供に努め、さらには、より多くの市民の皆様にご利用してもらうことを目標として、職員一丸となって業務を推進してきた。</p> <p>施設をより一層活用してもらうために、館内外に当館利用者案内ポスターやリーフレットを配置したほか、「ご意見箱」を設置するなど利用者のサービス向上及びニーズの把握に努め、利用者の増客を図ってきたところ、貸会議室等の利用者数及び宿泊利用者数が総じて増加した。</p> <p>また、開館以来 30 年以上が経過し、施設面においては特に老朽化が著しいことから、専用業者による定期点検とともに、自主点検も含めた不具合等の早期発見に努め、利用される皆様に安全で快適な利用が出来るように環境整備を図りながら、施設管理の長期維持を目標とした。</p>
今後の目標	<p>施設の活用推進を図るため、引き続き館内に当館利用者案内ポスターや、リーフレットを配置のうえ、利用される皆様へのより一層のサービス向上を目指すために、利用される皆様の負担にならない程度にアンケート調査を実施し、出来る限り要望事項等を反映させながら、常に笑顔での対応を徹底してまいりたい。</p> <p>施設管理面において平成 28 年度は、老朽化した施設・機械設備の保全を考慮した維持管理に努め、自主点検実施を強化する一方で、利用される皆様にご迷惑をかけることのないように修繕等が必要な箇所については、関係各位と連携を密にとり、出来る限り対応してまいりたい。</p> <p>利用する皆様の安全・安心に配慮し、各種研修の受講等により職員の資質の向上を図り、質の高いサービスの提供に努めてまいりたい。</p>

■市（所管課）の総合評価

<p>評価</p>	<p>当会館の設置目的を十分に理解し、水産業従事者の利便性の向上を意識した施設運営が行われているほか、入居団体との連携も図られており、会館全体の安定的運営にも貢献している。</p> <p>指定管理業務については、水産業界全体が厳しい状況にあるなか、利用実績、利用料金収入ともに前年度実績を上回った。特に宿泊において講習受講生等により、利用件数が大幅に増加した。支出面で、暖冬と燃油の下落により燃料費がおさえられたことや、老朽化の進む施設において、自主点検等を実施することで早期に不具合を発見し、不必要な維持経費の支出を抑えることで事業収支が最終的に黒字となったことは十分に評価できる。</p> <p>一方、長年水産会館で自主事業として運営されてきた食堂は、近隣の水産業従事者にとってなくてはならないものとなっているが、以前から赤字が続いている状況である。料理長の採用やメニューの見直し等利用者サービスを図り収入は増加したが、食材費、人件費の支出も増え、前年を上回る赤字となった。利用者ニーズに沿った更なる業務改善及び経費削減により、今後より一層の集客および収支の改善に努めていただきたい。</p>
<p>指摘事項</p>	<p>・自主事業（食堂）の収支改善に努めること。</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。 必要があれば、開館時間を早めて対応する場合もあった。（水産業従事者の健康診断や、小学生のスポーツ大会で宿泊の際の朝練）
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	最低賃金等の労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が非常に良く行われていた。 ・食品衛生に関する講習、省エネルギーセミナー等、各種研修に積極的に参加していた。
緊急事態への対応	◎	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が非常に良くできていた。 ・緊急対応マニュアルを作成し、各従業員に配布していた。また他の入居団体と合同で避難訓練を年2回実施するなど、緊急事態への備えができていた。 ・地震や台風などの災害時には、速やかに現場確認が行われ、市への状況報告がなされていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に保管されていた。
報告書等の提出	○	各種報告は遅滞なく適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	適切に設定され、周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。

口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の職員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	事例なし。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険及び独自に必要なと思われる保険に加入していた。 ・個人情報漏えいに対する賠償保険に独自に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	21年度～25年度、26年度～30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度～25年度、26年度～30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	簿冊が整備され、備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、空調設備保守点検、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
貸館利用状況	○	利用件数、利用者数共、前年度実績及び目標を上回った。 26年度実績 1,335件 25,236人 27年度目標 1,402件 26,498人 27年度実績 1,436件 28,313人 ※27年度件数 対前年度比 108% 達成率 102% 27年度人数 対前年度比 112% 達成率 107% ※小研修室と、大研修室(スポーツ目的)の利用が増加した。
宿泊室利用状況	◎	利用件数、利用者数共、前年度実績及び目標を上回った。 26年度実績 315件 509人 27年度目標 331件 534人 27年度実績 608件 909人 ※27年度件数 対前年度比 193% 達成率 184% 27年度人数 対前年度比 179% 達成率 170% ・講習会受講生の宿泊等により増加した。
自主事業	○	自主事業を実施し、利用者の増加及びサービス向上に効果があった。 《4月～翌年3月 食堂営業》 26年度実績 22,220人 27年度目標 23,331人 27年度実績 26,088人 ※27年度人数 対前年度比 117% 達成率 112% ・メニューの増加、工事関係者らの利用により増加した。

<p>その他の取組 (運営に関する工夫)</p>	○	<p>自主的な取組みを行った結果、サービスの向上に効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外、市外からの宿泊客のために市内観光地などを記した地図を作成し配布。 ・ 宿泊客に無料で歯ブラシ、タオルを提供。 ・ ダンス等の利用者に対してCDラジカセを無料貸出。 ・ 4月から10月にかけては、月1回、他の入居団体と協力して施設周辺の清掃活動を実施。
------------------------------	---	--

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																												
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="630 638 1458 1153"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 利用料金</td> <td>6,368,000</td> <td>7,492,690</td> <td>5,793,690</td> </tr> <tr> <td> 指定管理料</td> <td>17,577,000</td> <td>17,577,000</td> <td>17,577,000</td> </tr> <tr> <td> 修繕料繰越金</td> <td>32,392</td> <td>32,392</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 雑収入</td> <td>481,000</td> <td>148,789</td> <td>197,515</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>24,458,392</td> <td>25,250,871</td> <td>23,568,205</td> </tr> <tr> <td>支出②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>8,889,853</td> <td>8,435,595</td> <td>8,801,658</td> </tr> <tr> <td> 維持管理経費</td> <td>14,258,640</td> <td>12,749,757</td> <td>13,570,142</td> </tr> <tr> <td> 事業費・一般事務費</td> <td>421,200</td> <td>491,511</td> <td>425,821</td> </tr> <tr> <td> 租税</td> <td>660,000</td> <td>865,800</td> <td>702,200</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>24,229,693</td> <td>22,542,663</td> <td>23,499,821</td> </tr> <tr> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>129,260</td> <td>32,392</td> </tr> <tr> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>228,699</td> <td>2,578,948</td> <td>35,992</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収入は計画を達成し、前年度比では107%となった。主な要因とし宿泊利用者が増加したことが挙げられる。 ・ 支出は、前年度比96%となった。前年同様、暖冬と燃油の下落により、燃料費が抑えられたことや、自主点検を実施することで、施設不具合箇所を早期に発見し、修繕費などの維持管理費が抑えられた。 	項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①				利用料金	6,368,000	7,492,690	5,793,690	指定管理料	17,577,000	17,577,000	17,577,000	修繕料繰越金	32,392	32,392	0	雑収入	481,000	148,789	197,515	計	24,458,392	25,250,871	23,568,205	支出②				人件費	8,889,853	8,435,595	8,801,658	維持管理経費	14,258,640	12,749,757	13,570,142	事業費・一般事務費	421,200	491,511	425,821	租税	660,000	865,800	702,200	計	24,229,693	22,542,663	23,499,821	次年度修繕料繰越金③	0	129,260	32,392	収入－支出(①－②－③)	228,699	2,578,948	35,992
項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																											
収入①																																																														
利用料金	6,368,000	7,492,690	5,793,690																																																											
指定管理料	17,577,000	17,577,000	17,577,000																																																											
修繕料繰越金	32,392	32,392	0																																																											
雑収入	481,000	148,789	197,515																																																											
計	24,458,392	25,250,871	23,568,205																																																											
支出②																																																														
人件費	8,889,853	8,435,595	8,801,658																																																											
維持管理経費	14,258,640	12,749,757	13,570,142																																																											
事業費・一般事務費	421,200	491,511	425,821																																																											
租税	660,000	865,800	702,200																																																											
計	24,229,693	22,542,663	23,499,821																																																											
次年度修繕料繰越金③	0	129,260	32,392																																																											
収入－支出(①－②－③)	228,699	2,578,948	35,992																																																											
自主事業の収支状況	×	<p>収支計画から乖離し、1,327千円の赤字であった。</p> <p>収入 16,412,036円(計画16,581,000円、前年度実績13,977,135円) 支出 17,738,817円(計画15,878,000円、前年度実績14,210,732円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂利用者数は増加し、収入は対前年度比117%となったが、支出が収入を上回り赤字となった。要因としてはメニュー内容見直しによる食材費の増加及び業務改善に係る人件費増加である。 																																																												

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	<p>利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月に当会館入居団体職員50人に対し、食堂についてのアンケート調査を行い、利用者は約70%、満足度は26%であった。
施設概要(利用方法)の周知	○	<p>施設概要や利用方法等をホームページや施設への掲示等により積極的に周知していた。</p>
苦情・要望等の受付体制	○	<p>苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正面出入口に意見箱と用紙を設置していた。

苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に対し、適切に対応していた。 26年度実績7件（要望7件、苦情0件） 27年度実績5件（要望5件、苦情0件） ・対応について市と協議したうえで適切に対応していた。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規定が整備されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規定が整備されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電やリサイクルの推進、省エネルギーセミナーへの参加など、環境に配慮した施設運営が行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング					
自主点検状況	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実施状況</th> </tr> <tr> <td>随時、施設や備品の点検を行い、必要な修繕を実施した。指定管理者で対応できない案件については市に報告し、対応について協議した。</td> <td></td> </tr> </table>	実施状況		随時、施設や備品の点検を行い、必要な修繕を実施した。指定管理者で対応できない案件については市に報告し、対応について協議した。	
実施状況					
随時、施設や備品の点検を行い、必要な修繕を実施した。指定管理者で対応できない案件については市に報告し、対応について協議した。					

2 定期モニタリング					
定期報告状況	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実施状況</th> </tr> <tr> <td>・月報、年間事業計画及び年間事業報告が遅滞なく提出され、内容も適切であった。</td> <td></td> </tr> </table>	実施状況		・月報、年間事業計画及び年間事業報告が遅滞なく提出され、内容も適切であった。	
実施状況					
・月報、年間事業計画及び年間事業報告が遅滞なく提出され、内容も適切であった。					

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	約50回	6月2日	GL・担当	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関する意見交換 事業実施状況確認 帳票類の確認
		その他週1回程度	担当	<ul style="list-style-type: none"> 修繕箇所の確認及び修繕作業立会い 利用者からの要望に対する事実確認 管理運営状況の確認
	実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> 破損、異常が確認された箇所について、年間5件の修繕を実施した。（市発注4件、指定管理者発注1件） 管理運営状況について、随時聞き取りを行った。 利用者からの要望への対応について協議を行った。 				

※GL：グループリーダー